

1 現状・課題

- 令和8年度実施試験の全体の志願者数は、令和7年度より161名増加し、3,215名（2年連続で増加）
- 一方、小学校、特別支援学校の志願倍率は、引き続き低い状況

		令和8年度実施試験		令和7年度実施試験		志願者（志願倍率） の増減
		採用予定	志願者（志願倍率）	採用予定	志願者（志願倍率）	
教 諭	小 学 校	510名	757名（1.48倍）	410名	718名（1.75倍）	+39名（▲ 0.27倍↑）
	中 学 校	300名	963名（3.21倍）	280名	964名（3.44倍）	▲1名（▲ 0.23倍↑）
	高 等 学 校	185名	783名（4.23倍）	140名	709名（5.06倍）	+74名（▲ 0.83倍↑）
	特 別 支 援	120名	262名（2.18倍）	110名	216名（1.96倍）	+46名（+ 0.22倍↑）
養 護 教 諭		21名	407名（19.38倍）	22名	401名（18.23倍）	+6名（+ 1.15倍↑）
栄 養 教 諭		2名	43名（21.50倍）	4名	46名（11.50倍）	▲3名（+10.00倍↑）
全 体		1,138名	3,215名（2.83倍）	966名	3,054名（3.16倍）	+161名（▲ 0.33倍↑）

2 次年度の教員選考試験の見直しの方向性

- 引き続き、志願者の増加に向け、試験制度を見直し
- 1次試験に、他の自治体との共通問題を使用

見直し① 第1次試験に他の自治体との共通問題を使用

【内容】 1次試験に、51の自治体で構成する協議会(※)で作成する問題を使用（全校種で使用）

※ 教員採用選考に係る第一次選考の共同実施に関する自治体協議会

【目的】 1次試験の問題作成に係る負担低減、2次試験の準備への注力

[次年度の教員選考試験の予定]

	令和9年度		【参考】令和8年度	
1次試験	5月8日(土)	教科専門試験 60分 ※ 協議会作成の共通問題	5月10日(日)	教科専門試験 90分 ※ 本県独自の問題
		SPI3による受験も可能		SPI3による受験も可能
2次試験	7月予定	個人面接・模擬授業等 ※ 校種・教科で異なる	7月12日・13日 17日・18日	個人面接・模擬授業等 ※ 校種・教科で異なる
合格者発表	8月予定		8月8日(金)	

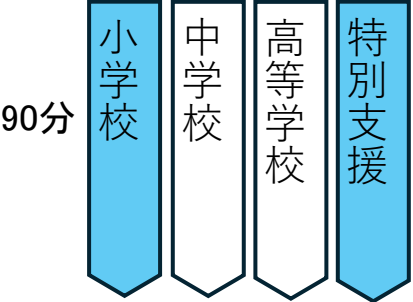
試験日程・内容等の詳細は、令和9年度実施茨城県公立学校教員選考試験実施要項でお知らせします。
※ 令和9年2月頃公表予定

見直し② 小学校・特別支援学校教諭の採用強化

【内容】 これまで、全校種、同一時間帯に行っていた1次試験の試験時間をずらすことで、中学校・高等学校を受験する方が、1次試験から、小学校・特別支援学校を併願可能とする。

【目的】 小学校・特別支援学校の志願者の増加

現 行 全校種、同一時間帯に試験

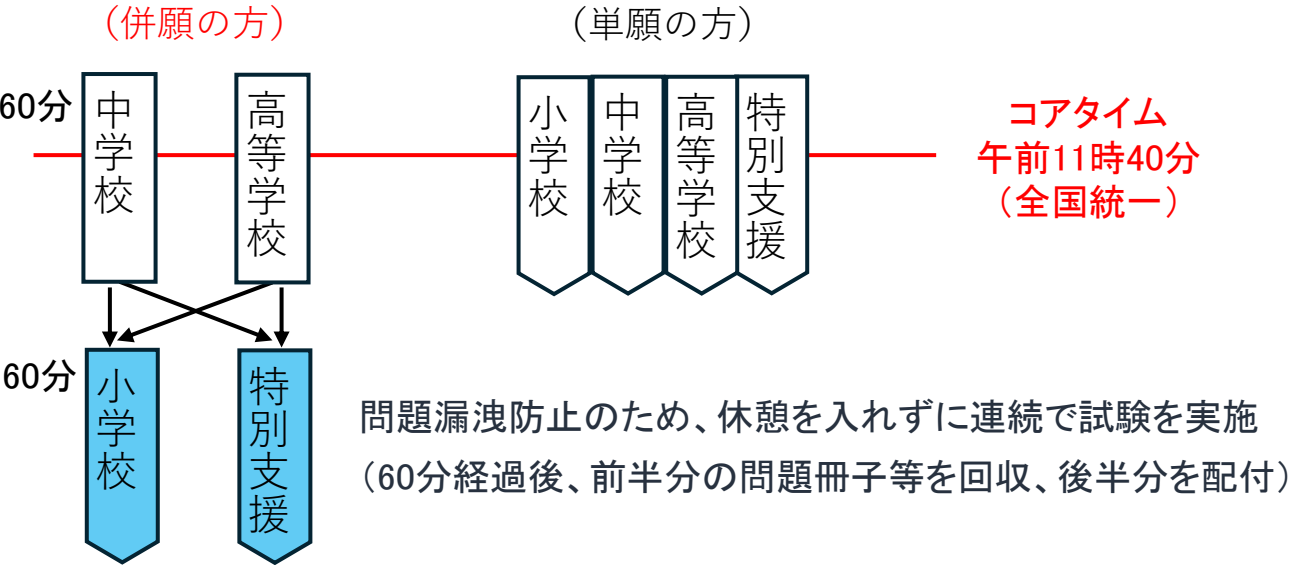


＜デメリットの例＞

- 1次試験は、中学校・保健体育を受験。高得点だったが、倍率が13倍と高く不合格に。小学校の免許も持っているが、茨城県の小学校は受験できない。



次年度 併願者は、小学校と特別支援学校の試験時間をずらして実施



見直し③ 中学校・高等学校の英語教諭の受験条件の変更

【内容】中学校・高等学校の英語教諭は、志願時点で「英語検定準1級相当の資格所持」を受験条件とします。

※ 英語教諭については、1次試験（筆記試験）は実施しない。

【目的】英語力の高い英語教諭を採用し、質の高い英語教育を推進

試験の内容

中学校 教諭（英語）

	受験者の所持資格	1次試験	2次試験	
		筆記試験	口述試験	模擬授業 個人面接
次年度	英検準1級相当	—	—	○
	上記資格なし	受験資格なし		
今年度	英検準1級相当	—	—	○
	上記資格なし	○	○	

高等学校 教諭（英語）

	受験者の所持資格	1次試験	2次試験	
		筆記試験	口述試験	模擬授業 個人面接
次年度	英検準1級相当	—	○(※)	○
	上記資格なし	受験資格なし		
今年度	英検準1級相当	—	○(※)	○
	上記資格なし	○	○	

※ 英検1級相当以上の所持者は、免除

【参考1】 教員の英語検定準1級相当以上を取得している割合

	中学校教諭	高等学校教諭
本県	44. 6%	91. 9%
全国平均	58. 6%	84. 9%

【参考2】 英語検定準1級相当の資格（CEFRのB2レベル程度）

- TOEIC L&R: 785～945点程度
- TOEFL iBT: 72～94点程度
- IELTS: 5.5～6.5程度（目安として6.0前後）

見直し④ 秋試験の新設

【内容】 通常日程で、合格者が少なかった校種や教科について、「秋試験」で採用

【目的】 教員免許はあるが、春は、民間企業等を目指していた方などに受験機会を提供し、優秀な人材を確保

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
通常日程の試験 (次年度の想定)		受験 申込		1次 試験		2次 試験	合格 発表								採用
秋試験 新設				1次試験 (SPI3)				受験申込			2次試験	合格発表			

※ 試験日程・内容等の詳細は、令和9年度実施茨城県公立学校教員選考試験実施要項でお知らせします(令和9年2月頃公表予定)

【参考】 秋試験の内容

[1次試験] 民間企業の採用活動や本県の1次試験でも使用している外部試験(SPI3)

[2次試験] 通常日程と同じ「個人面接」と「模擬授業」等

※ 同年度の本県の「通常日程の試験」で不合格となった方については、秋試験で、同じ校種に志願することはできません。